発行所／株式会社BCN　〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル　TEL：03-3254-7801　FAX：03-3254-7808
比世聞（上海）信息諮詢有限公司／商業計算機新聞社 上海支局　〒200040 中国上海市静安区延安中路1440号 阿波羅大厦617室
週刊（毎週月曜日発行）©BCN2015　昭和57（1982）年12月13日第3種郵便物認可　印刷・製本／株式会社広英社印刷

購読のお申し込み　TEL 03-3254-7801　FAX 03-3254-7808　MAIL sub@bcn.co.jp
年間購読料：15,000円＋税　1部：330円＋税　郵便振替口座：0018-4-108217

ITの流通・ヒト・売り方を読む

# BCN

BUSINESS COMPUTER NEWS

2015.4.13
vol.1575
第2部

http://biz.bcnranking.jp/

## NTTコミュニケーションズが次世代クラウドで切り拓く

# パートナー企業との新たなクラウドビジネス

## 安心して利用できるようにするための

# グローバルICT インフラへのこだわり

▶▶▶ NTTコミュニケーションズ

**NTTコミュニケーションズ（NTT Com）がクラウドサービス事業を強力に推進している。同社が展開しているプライベートクラウドサービス「Bizホスティング Enterprise Cloud（BHEC）」およびパブリッククラウドサービス「Bizホスティング Cloud$^{n}$（Cloud$^{n}$）」は、いまやそれぞれの領域で確固たる存在感をみせている。その強みはどこにあるのか。さらに今後、どのような進化を遂げようとしているのか。同社のクラウドサービス事業を率いる田中基夫取締役にお話をうかがった。**

### 通信キャリアならではの ネットワーク技術を生かす

**―― BHECおよびCloud$^{n}$のそれぞれの特徴を教えてください。**

**田中**　BHECは、お客様のビジネスで本格的に使っていただけるシステムとしてご提供しているクラウドサービスです。データセンター（DC）やネットワークからアプリケーション、セキュリティまで、通信キャリアならではの高い技術力と豊富なノウハウを生かしています。特徴としては、組み合わせが自由なICTリソースによって、余分なコストを徹底的に削減したり、セルフマネジメントによってクラウドを自由自在にコントロールしたりすることができる点が挙げられます。お客様のさまざまなシステム利用のご要望にお応えできるサービスをラインアップしており、基幹系業務でもお使いいただける環境をご提供しています。

一方、Cloud$^{n}$は、パブリッククラウドサービスとして低価格で手軽に利用していただけるのが最大の特徴です。データ転送料は無料で、サービス利用のお申し込みをいただくと、すぐにサーバーリソースを使っていただくことができます。オペレーションはすべて自動化されており、ロードバランサによってリソースの自動増減や負荷分散を施しているので、コストパフォーマンスの高いクラウド利用を実現しています。

**―― 他社のサービスと比べた場合の強みは何でしょうか。**

**田中**　クラウドサービスはICT、つまりコンピュータとネットワークの技術で成り立っていますが、当社のクラウドサービスはコンピュータだけでなく、通信キャリアとしての豊富なネットワーク技術を駆使して、他社にはないさまざまな連携サービスを提供できるところに最大の強みがあると自負しています。

例えば、ネットワークの最新技術であるSDN（Software-Defined Networking）を活用して、同一DC内や異なるDC間のクラウド／コロケーションを同一ネットワークセグメントで接続する「コロケーション接続サービス」を、昨年春に世界で初めて提供開始しました。こうしたネットワーク技術を駆使してクラウドのパワーをさらに拡大できるところが、当社の真骨頂だと考えています。

### 企業のグローバル展開を支える クラウドサービス

**―― 御社のクラウドサービスは、どのような企業に導入されているのでしょうか。**

**田中**　企業の海外進出や急変する市場環境に対応するため、お客様からは、グローバルに展開している事業を一元管理するために、クラウドサービスもグローバルで統合的に運用したいというご要望をよくうかがいます。当社はDCとネットワーク事業をグローバルで行い、あわせてクラウドサービスもグローバルに進出していることから、大手製造業をはじめとしてグローバルに事業を展開しているお客様にご活用いただいているケースが最も多いです。

**―― 顧客からの要望が多い、クラウドサービスにおけるグローバル展開の状況についてもお聞かせください。**

**田中**　クラウドサービスにおけるグローバル展開については、BHECをこれまで9か国11拠点から提供してきましたが、2015年内にはこれを13か国16拠点に拡大する予定です。さらに、先ほどお話ししたお客様のご要望にお応えして、世界各地の仮想サーバーやネットワークの状態を一つのカスタマーポータルから一元的に管理・運用できるようにしたフェデレーションサービスをご提供しています。これも比類のないサービスだと自負しています（図1参照）。

**―― グローバル展開もそうだと思いますが、御社のクラウドサービスにおいて強くこだわっておられるところを聞かせてください。**

**田中**　グローバル展開は、お客様のご要望にお応えするためにもしっかりと推進していくことが、当社の使命だと考えています。それとともに、クラウドサービスにおいて強くこだわっているのは、徹頭徹尾、インフラをベースとする高品質なサービスをご提供するということです。これはもともとネットワークというインフラを長年にわたって手がけてきた当社の基本姿勢に通じるものです。

しかも単にインフラをご提供するだけでなく、その全体を統合管理しながら支障なく運用することによって、お客様に安心して利用していただける環境を提供することが、当社の事業に対するこだわりの核心です。クラウドサービスもまさしくそのこだわりに基づいています。

### 一つの基盤で複数の サーバーを管理する次世代クラウド

**―― 昨年秋、次世代クラウド基盤の開発計画を明らかにされましたが、どのようなことを実現しようとされているのですか。**

**田中**　次世代クラウド基盤のコンセプトは、複数のタイプのサーバーを一つのクラウドサービスとして、オンデマンドで柔軟に、かつ一体的に利用できる環境ということです。それによって何が実現できるかというと、一つの基盤において共有タイプのパブリッククラウドと専有タイプのプライベートクラウドを提供し、異なる仮想化環境やベアメタルのような物理サーバーも利用できるようにすることによって、お客様のオンプレミスのサーバー環境をそのままクラウド化できるようにするというのが勘所です（図2参照）。

そこでカギとなる技術がSDNです。SDNを活用した柔軟なDC内ネットワークを構築し、異なるタイプのサーバー間を自由にセグメント設定することによって、一つのシステム基盤として利用できるようにするのです。ストレージもSDNによって柔軟に接続し、先ほどお話ししたコロケーション接続サービスなども適用すれば、クラウド利用のカバレッジを大きく広げることができるようになります。

また、サーバー、ストレージ、SDNを一体的にコントロールできる統合APIと、各ベンダーの個別APIの双方を提供し、システム環境に合わせて最適なAPIを選択できるようにするほか、統合管理ポータルを通じて他社のクラウドサービスも含めて管理できる環境を提供しようと考えています。こうした仕組みからなる次世代クラウド基盤を、今年下期から順次提供していきたいと考えています。

**――次世代クラウド基盤によって、パートナー企業やユーザー企業はどのようなメリットを享受できるのでしょうか。**

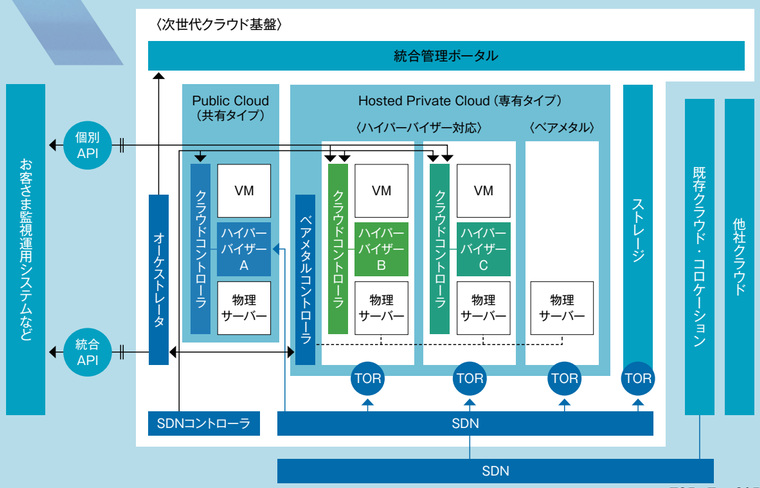
**田中**　これまで次世代クラウド基盤の仕組みを中心にお話ししてきましたが、利用シーンからみた本質的なポイントとして強調しておきたいのは、現行のBHECをさらに進化させたかたちで、セルフマネジメントによりクラウドを自由自在にコントロールできるようになることです。これはシンプルで柔軟なお客様主導のクラウド利用環境が実現するということです。

一方、パートナー企業の皆様にぜひお伝えしたいのは、当社は徹頭徹尾インフラに注力していきますので、この仕組みを組み入れてお客様にシステムを提供していただいたり、アプリケーションの開発環境として使ってもらうなどして、SaaS型サービスを展開していただきたいということです。パートナー企業の皆様に広く扱っていただけるように、当社は今後もインフラとしてのAPIやポータルを拡充してまいります。当社のグローバルなクラウド基盤を利用していただくことで、例えばSaaS型サービスを国内だけでなくグローバルに展開できるようにもなります。当社のインフラをパートナー様のサービス名称で提供していただける「ホワイトラベルサービス」もご用意しています。

「インフラはNTT Comのクラウドに任せよう」と、パートナー企業の皆様にご信頼いただいて使っていただけるように力を尽くしてまいります。

図1：グローバルに展開する「Bizホスティング Enterprise Cloud」
世界各地の仮想サーバーの状態を一つのカスタマーポータルから一元的に管理／運用可能

図2：次世代クラウド基盤のコンセプト




TOR : Top Of Rack

田中基夫
取締役
クラウドサービス部部長

最新ネットワーク技術を駆使したクラウドを活用し、パートナー企業の皆様が信頼してご利用いただけるよう尽力していきます。
――― 田中基夫

photo by Hirokazu Hasegawa

# NTTコミュニケーションズ「パートナーソリューションプログラム」クラウドPartner List

NTTコミュニケーションズのクラウドサービス（Bizホスティング Cloud$^{n}$、Bizホスティング Enterprise Cloud）を組み合わせたパッケージを提供するパートナー企業を、ソリューション種別ごとに一覧にしたものです。

## ［業務支援アプリ］

**株式会社アイティデザイン**
- PIMクラウド for R&D-GAM（研究開発型　目標達成管理）

**アドソル日進株式会社**
- AdsolDP

**株式会社アンソネット**
- CTIシステム「接客ナビ」クラウド版
- 発信ナビ　クラウド版
- 通信販売管理システム クラウド版

**eBASE株式会社**
- eBASE

**株式会社ウフル**
- Salesforce導入サービス

**株式会社エスプリ**
- タブレットアンケートパック on Bizホスティング
- Webキャンペーン応募構築パック on Bizホスティング
- Webプロモーション構築パック on Bizホスティング

**NTTソフトウェア株式会社**
- TopicRoom／TopicRoom Enterprise

**株式会社応用電子**
- FKEY VDIクラウド

**シャープビジネスソリューション株式会社**
- TeleOffice
- クラウド対応POS　UP-N300
- 業務用携帯端末（RZ-F303C）モバイル連携ソリューション

**シンクビジョン株式会社**
- 一番星 運送業システム

**SKY-NETWORK株式会社**
- POP AND GO

**スキルインフォメーションズ株式会社**
- メディカルナイスナレッジ

**株式会社テクニカル・ユニオン**
- FileMakerホスティング

**株式会社トライエス**
- Excel2Web(一括変換システム・クラウド)

**日本ラッド株式会社**
- ビッグデータ解析クラウド

**株式会社ぱぷりかプロモーション**
- 予約システム　お手軽リザーブ

**ビジネスメンター株式会社**
- Brownie for Stamper

**北都システム株式会社**
- HOT Works

**ユーザックシステム株式会社**
- Pittaly店舗発注アプリ・Pittalyクラウドサービス

**ユニバーサルコンピューター株式会社**
- LanScope Cat on Cloud$^{n}$

**株式会社ラポール**
- 特攻店長

**株式会社レッツ**
- レッツ現場日報 for Web

## ［ネットワーク・VPN］

**株式会社アーツネットウェーブ**
- ダブル回線あんしんネット for Cloud

**株式会社JALインフォテック**
- JIT Mobile Security

**NTTアドバンステクノロジ株式会社**
- セキュア仮想デスクトップソリューションパック
- AlaxalA
- PowerMedia™ XMS

**NTTソフトウェア株式会社**
- SkyOnDemand Premium Edition

**シャープビジネスソリューション株式会社**
- e-Signage クラウドサービス
- 業務用携帯端末(RZ-F303C)モバイル連携ソリューション

**スカパーJSAT株式会社**
- 衛星ネットワークサービス

**セキュアスマート株式会社**
- SecureSmart VPC

**センチュリー・システムズ株式会社**
- WarpLink マネージドVPN for クラウド

**ナカヨ電子サービス株式会社**
- VoiceCasterクラウド

## ［移行・コンサル］

**株式会社ウフル**
- Salesforce導入サービス

**株式会社きっとエイエスピー**
- きっと"どこでも"アプリ

**株式会社K2U−J**
- 街のIT屋さん

**ジグソー株式会社**
- クラウド移行・運用監視パック

**株式会社システムエグゼ**
- アプリケーション再構築サービス(クラウドワープ)
- 診断サービス(クラウドワープ)
- サーバ引越しサービス(クラウドワープ)
- Cloud$^{n}$への引越しサービス

**株式会社スカイアーチネットワークス**
- PROACTIVE For Cloud

**株式会社日本ビジネスエンジニアリング**
- 安心クラウドサポート

**ビセ株式会社**
- オフィスサーバエントリーパック

**株式会社レキサス**
- クラウドマイグレーションサービス

## ［基幹系アプリ］

**株式会社ECM**
- HR&Payroll

**株式会社エスプリ**
- 楽楽売上報告パック on Bizホスティング
- 楽楽勤怠報告パック on Bizホスティング
- 日報報告パック on Bizホスティング
- 楽楽商品発注パック on Bizホスティング
- 楽楽現場報告パック on Bizホスティング

**NTTアドバンステクノロジ株式会社**
- SonicWALL

**株式会社オービックオフィスオートメーション**
- 勘定奉行シリーズ

**KYODOU株式会社**
- ShiftMAX
- KDべんり君

**株式会社コンピュータシステム**
- HIT販売仕入 on Cloud

**有限会社サイプラス**
- RentUP

**株式会社サン・システム**
- Medical Stream ～総合物流グループ管理版～

**株式会社システムエグゼ**
- アプリケーション再構築サービス(クラウドワープ)
- EXEX生産管理
- EXEX少額短期保険

**シンクビジョン株式会社**
- 一番星 運送業システム

**株式会社ステッド**
- 羅針盤シリーズ

**東京アプリケーションシステム株式会社**
- Mail de ECO Standard for SaaS

**株式会社日本データコム**
- 「スゴ腕」WebPOS シリーズ

**ビジネスメンター株式会社**
- Brownie for Stamper

**株式会社ユー・エス・イー**
- アカデミアソリューション

**株式会社レッツ**
- レッツ現場日報 for Web

## ［情報共有］

**株式会社アイティデザイン**
- PIMクラウド for R&D-GAM（研究開発型　目標達成管理）

**アドソル日進株式会社**
- AdsolDP

**NTTアドバンステクノロジ株式会社**
- R-Talk800
- VOCALNET Idobata

**eBASE株式会社**
- eBASE

**株式会社ウェイズジャパン**
- Fileforce

**株式会社エスプリ**
- 空き病床情報共有パック on Bizホスティング
- お客様事例DB構築パック on Bizホスティング
- 製品DB構築パック on Bizホスティング
- FAQ構築パック on Bizホスティング
- 名刺DB構築パック on Bizホスティング
- お客様の声収集DB構築パック on Bizホスティング

**株式会社大崎コンピュータエンヂニアリング**
- OMSB on 050 plus(クラウド電話帳)

**有限会社サイプラス**
- e-White(歯科医院予約管理システム)
- e-T-Jr(ジュニアテニス 運営管理システム)
- e-Court(クラウド型施設予約管理システム)

**シャープビジネスソリューション株式会社**
- TeleOffice
- クラウド対応POS　UP-N300

**スキルインフォメーションズ株式会社**
- メディカルナイスナレッジ

**株式会社ステッド**
- 羅針盤シリーズ

**株式会社テクニカル・ユニオン**
- FileMakerホスティング

**北都システム株式会社**
- HOT Works

## ［バックアップ・BCP］

**株式会社アイ・オー・データ機器**
- クラウドストレージへのバックアップソリューション

**株式会社アーツネットウェーブ**
- ダブル回線あんしんネット for Cloud

**株式会社ウェイズジャパン**
- Fileforce

**株式会社エスプリ**
- 簡易BCPパック on Cloud$^{n}$

**株式会社応用電子**
- FKEY VDIスイート
- FKEY VDIクラウド

**株式会社きっとエイエスピー**
- きっと"どこでも"アプリ

**有限会社サイプラス**
- RentUP

**株式会社システムエグゼ**
- 診断サービス(クラウドワープ)
- サーバ引越しサービス(クラウドワープ)
- システム運用保守サービス(クラウドワープ)
- データベースログ取得サービス
- Cloud$^{n}$への引越しサービス

**株式会社スカイアーチネットワークス**
- PROACTIVE For Cloud

**スカパーJSAT株式会社**
- 衛星ネットワークサービス

**株式会社ナガイ**
- クラウド自動バックアップ

## ［監視・保守・運用］

**NTTアドバンステクノロジ株式会社**
- 帯域制御Allot
- SonicWALL

**株式会社エヌ・ティ・ティ・データ**
- Hinemos

**株式会社K2U−J**
- 街のIT屋さん

**ジグソー株式会社**
- クラウド移行・運用監視パック

**株式会社システムエグゼ**
- システム運用保守サービス(クラウドワープ)
- データベースログ取得サービス

**シャープビジネスソリューション株式会社**
- e-Signage クラウドサービス

**シンク・エンジニアリング株式会社**
- T-Log for Web

**株式会社スカイアーチネットワークス**
- PROACTIVE For Cloud

**株式会社日本ビジネスエンジニアリング**
- 安心クラウドサポート

**ビセ株式会社**
- オフィスサーバエントリーパック

**株式会社ユー・エス・イー**
- クラウド移行コンサルティングサービス

**ユニバーサルコンピューター株式会社**
- LanScope Cat on Cloud$^{n}$

**株式会社レキサス**
- クラウドマイグレーションサービス

## ［その他］

**株式会社アビリッツ**
- クラウドセキュリティ診断

**NTTアドバンステクノロジ株式会社**
- セキュア仮想デスクトップソリューションパック
- PowerMedia™ XMS

**シンク・エンジニアリング株式会社**
- T-Log for Web

**日本ラッド株式会社**
- ビッグデータ解析クラウド

**富士インフォックス・ネット株式会社**
- BI 21(ビジネス・インテリジェンス)

**株式会社レキサス**
- セキュリティお任せパック

## テクニカル・ユニオン ｜ http://www.technicalunion.com/

# FileMakerサーバーをクラウドで提供する「FileMaker ホスティングサービス」

### ハイパフォーマンスなサービスをお値打ち価格で実現

戸倉正貴 社長

テクニカル・ユニオンは、大手スーパーやホームセンターなどの配送センター向けシステムを中心に、各種業務アプリケーションの開発などを手がけるSIerだ。近年では、クラウドやモバイルなど、時代の流れに応じた幅広い分野のテクノロジーを取り扱っている。同社の商材の一つである「FileMaker」については、正規のリセラーである。

「FileMakerの開発パートナーは規模の小さな企業がほとんどで、ネットワークが得意でないところも多い。そのなかで当社は、販売からシステムインテグレーションまで、ハードウェアやネットワーク環境の構築も含め対応している」と戸倉正貴社長は語る。「FileMaker ホスティングサービス」は、ほかのFileMaker開発パートナーの多くが苦手とする分野の技術やノウハウをもつ同社ならではのサービスといえよう。

FileMaker ホスティングサービスのインフラには、過去に他社のデータセンター（DC）を利用していた時期もあったが、2年ほど前からNTTコミュニケーションズ（NTT Com）のサービスにシフトし、「Bizホスティング Enterprise Cloud」や「Bizホスティング Cloud®」を利用しているという。

戸倉社長は、「NTT Comを選んだのは、価格やブランド、安定性などを評価した結果。また、FileMaker ホスティングサービスでは、ユーザー1社ごとにサーバーを割り当てているので、サーバー単位で借りられる点も適している」と強調する。

FileMakerのホスティングでは、以前は主にCitrix製品との組み合わせでリモートアクセスを実現していたが、最新のバージョン13では画面をリアルタイムでHTMLに出力する新機能「WebDirect」が搭載され、単体での実現も可能となった。

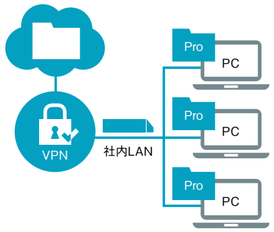
「あるユーザーは、以前はFileMakerで管理しているデータをオンプレミス上で別のサーバーに転送してウェブに表示していたが、最新バージョンへの移行でシステムを一元化し、データ同期の負担から解放された。リアルタイム変換のためにサーバー、とくにCPUの負荷が大きく、さらに同時50接続で利用。BizホスティングEnterprise Cloudでないと、高負荷に対応できるリソースを納得できる価格で利用することはできなかった。このユーザーは、オンプレミスからクラウドへ移行することでバックアップ作業などの運用稼働を大幅に削減できた」と、戸倉社長は導入のメリットを語る。

**仮想専用サーバー**
●お客様の利用環境に合わせて柔軟なサーバーリソース変更が可能

**FileMaker機能をフルサポート**
●File Maker Server13 のすべての機能が利用可能

**VPN対応**
●VPN構成が可能

**あんしん♥サポート**
●運用管理やFileMaker のサポートを同社が実施するため窓口が一本化
●セキュリティ対策をはじめとする各種アップデートを個別に実行することが可能




Bizホスティング Cloud®を利用した「FileMakerホスティングサービス」

## NTTソフトウェア ｜ http://www.ntts.co.jp/

# 社内システムとクラウドをつなぐ「SkyOnDemand」

### 高いセキュリティと信頼性を実現

中島陽子
ビジネスソリューション事業部
第一カンパニー
営業担当課長

NTTソフトウェアは、NTT研究所を母体として設立されたNTTグループの一社。同社の「SkyOnDemand Premium Edition（SkyOnDemand PE）」は、クラウド間やクラウドとオンプレミス間のシステム連携を実現するサービスだ。このサービスの基盤には、NTTコミュニケーションズ（NTT Com）の「Bizホスティング Enterprise Cloud（BHEC）」が用いられている。

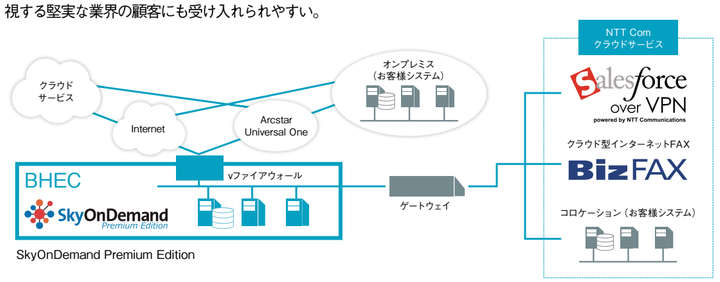
「企業の重要なシステムも、クラウドで運用するケースが増えている。データ連携にもオンプレミスだけでなく、クラウドとの連携やクラウド間の連携が求められてくると考え、サービスを開始した。インテグレーション不要のサービスとして販売しているため、ユーザーにとって導入しやすい」と、中島陽子・ビジネスソリューション事業部第一カンパニー営業担当課長は説明する。

このクラウドサービスは当初、外資系クラウド事業者のインフラを用いて提供されていたが、2014年から新たにBHEC上で提供するSkyOnDemand PEが登場した。

「企業によってはセキュリティポリシー上、インターネットを経由できないデータがあるが、BHEC上で提供されるSkyOnDemand PEならVPNを活用し、社内に直結したかたちでクラウドサービスとの連携ができる。まさに、こうしたセキュリティ面の機能や信頼性から、BHECを採用した」（中島課長）という。

SkyOnDemand PEでは、「これまでと、まるで客層が違っている」と中島課長は話す。堅牢で、かつ国内データセンター（DC）で運用されているBHEC上でサービスが提供されており、信頼性を重視する堅実な業界の顧客にも受け入れられやすい。

中島課長は、「ある損保会社では、NTT Comのクラウドサービスを使っているが、ポリシー上や業務の都合上、顧客の契約情報や機微情報などをクラウドサービスに置くことができずに、オンプレミスで管理している。これまで、それらの情報を閲覧するアプリケーションを別途構築していたが、操作性が低く、転記時の誤記の課題もあった。そこで、SkyOnDemand PEを採用してVPNで接続、クラウドサービスの画面にリアルタイムに表示させることで業務の効率化を実現した」としている。




SkyOnDemand Premium Edition

## システムエグゼ ｜ http://www.system-exe.co.jp/

# 「Cloud WARP」でクラウド移行をトータルにサポート

### システム保守を一元化し、運用負荷を軽減

豊嶋功
営業本部
クラウド・コンサルグループ
シニアコンサルタント

システムエグゼは、生産管理や会計などの業務と、損保・生保や医療などの分野に強いSIerだ。同社では、オンプレミスからクラウドへのシステム移行サービス「Cloud WARP」において、NTTコミュニケーションズ（NTT Com）のクラウドを推奨移行先としている。

Cloud WARPは、事前のコンサルティングから運用・保守まですべてのフェーズ、そしてインフラからアプリケーションまですべてのレイヤで、広くトータルにカバーするメニュー体系となっている。

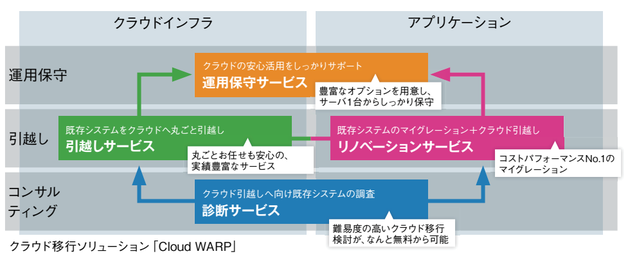
「システムのクラウド化について多くの相談が寄せられていたことから、お求めやすいサービスを開発した。サーバー1台から対応し、丸ごとの引越しをお任せいただくこともできる。さらに、ベトナム子会社でのオフショア開発によってコストを大幅に削減できる」と、豊嶋功・営業本部クラウド・コンサルグループシニアコンサルタントは説明する。

Cloud WARPでは、以前は顧客ごとに移行先クラウドを選定していたが、メニュー体系の整備と同時にNTT Comのクラウドインフラを推奨移行先にしたという。

「NTT Comは国産キャリアクラウドとして、ネットワーク網をもっている強みがある。加えて、営業面の支援や、クラウド環境そのものに対する手厚い技術サポートも、選定の大きな決め手となった」（豊嶋シニアコンサルタント）という。

ある保険代理店は、物理サーバーの保守切れやOSサポート終了を控えており、Cloud WARPで業務アプリケーションをはじめとする各システムをクラウドへ移行した。すべての仮想サーバーは「Bizホスティング Enterprise Cloud」に移行し、データのバックアップ先には「Cloud® Object Storage」を使うことでコストを抑えた。また、モバイル通信環境にセキュアなリモートアクセスを実現する「Arcstar Universal One モバイル」を採用するなど、ほぼNTT Comのサービスラインアップに集約している。

「回線まで見直した結果、コストも大幅に削減できた。クラウドで運用することで耐障害性が向上し、運用を当社で一元化したことで運用負荷も軽減している。何よりNTT Comで細かな要望に応えていただいたことが大きい」と、豊嶋シニアコンサルタントは語る。




クラウド移行ソリューション「Cloud WARP」

## エジソン ｜ http://www.e-mall.co.jp/

# 廃棄物処理・リサイクル事業者向け「将軍シリーズ」

### 業界特化の業務システムをクラウドサービスで提供

鈴木貴
執行役員
将軍事業統括

環境マネジメントサービスや環境ITソリューションテクノロジーを提供するエジソンは、廃棄物収集・運搬・処理業者や資源リサイクル業者向け業務システム「将軍シリーズ」で、クラウドサービスの基盤としてNTTコミュニケーションズ（NTT Com）のクラウドインフラを用いている。

同社の事業分野は、「排出」「処理」「リサイクル」の“静脈物流”と呼ばれる領域。日本国内における廃棄物の処理は、現在では非常に複雑な手続きが必要となっている。「例えば業者は、廃棄物を処理するたびに『マニフェスト』と呼ばれる伝票を発行して各方面に提出し、その台帳を5年間保存することが義務づけられている。自治体によっては、管理台帳の内容を毎年報告するなども求められる」と鈴木貴・将軍事業統括執行役員はいう。

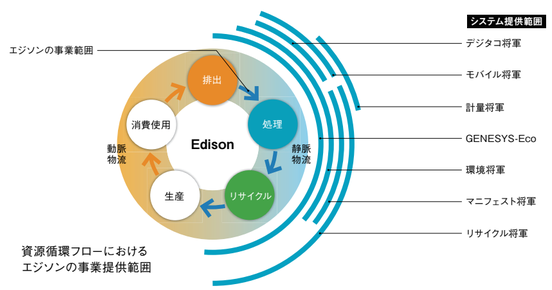
こうした煩雑な手続きが業者の事務負担を重くしている。将軍シリーズは、こうした負担を軽減するためのパッケージだ。マニフェストだけでなく、見積・契約から受注、配車、収集運搬、計量、売上まで、一連の機能を網羅した製品群となっている。

将軍シリーズのクラウド展開の基盤には、NTT Comの「Bizホスティング ベーシック」や「Bizホスティング Enterprise Cloud」が採用されている。ユーザー規模によって適切な基盤を選択し、カスタマイズも合わせてユーザーごとに個別に提供しているという。

「NTT Comを選んだ理由は、信頼や実績、設備面の魅力、それから営業担当のサポートも小回りが利き、ユーザーの事業規模に合わせた提案ができる点に魅力を感じたからだ」と鈴木執行役員は説明する。

さらに、鈴木執行役員は「近年ではクラウドを使うユーザーが増えてきたが、とくに東日本大震災の後は、災害対策の観点からも注目を浴びている。実際に、震災で津波に遭い事業所ごと流失したリサイクル業者が、クラウド上からデータを復旧した例もある」と話す。

なお現在、同社ではユーザーの負担をさらに軽減するBPO（業務プロセスアウトソーシング）も手がけている。顧客と同社の情報共有のためにも、クラウドが大いに役立っているという。




資源循環フローにおける
エジソンの事業提供範囲

# パートナーの クラウドビジネス拡大を支援

## マーケティングからテクニカルまで幅広い支援メニューを提供

**NTTコミュニケーションズ（NTT Com）は、販売パートナー向けの協業プログラム「パートナーソリューションプログラム（PSP）」を2014年9月にリニューアルした。新たなPSPでは、NTT ComのICTサービス群をパートナーのアプリケーションやソリューションに柔軟に組み合わせて提供できるように支援メニューが強化されている。NTT Comのパートナー営業を統括する第五営業本部の楠木健本部長と深川実生担当部長に、PSPリニューアルの狙いとパートナーが享受できるメリットについてうかがった。**

楠木健
第五営業本部長

深川実生
第五営業本部
営業推進部門
担当部長

### エコシステムのさらなる強化を目指し パートナー支援メニューを拡充

NTT Comは、販売パートナー向けに提供している協業プログラムのPSPを2014年9月にリニューアルし、営業支援・トレーニングからテクニカルサポートまで、パートナーのビジネスを強化する多様なサービスプログラムを拡充した。楠木健・第五営業本部長は、「パートナーとのエコシステムをさらに強化するためにリニューアルした。当社は、長年にわたって通信・ネットワークを中心とした事業を手がけてきたが、ビジネスの比重がIaaSやクラウドサービスなどICTインフラ全般に移りつつある。既存のパートナーはもちろん、IaaSやクラウドの分野で新しいパートナーと協業していくために幅広い支援メニューが重要になってきた」と、新プログラム提供の背景を語る。

新しいPSPでは、従来のプログラムが提供してきたマーケティングサポートに加え、提案ツールや導入事例を提供する「セールスサポート」、提案導入の支援から検証環境を提供する「テクニカルサポート」、営業担当者やSEに向けた勉強会を開催する「トレーニングサポート」、技術者に向けた「情報提供」を新たに追加した。深川実生・第五営業本部営業推進部門担当部長は、「当社の商材は通信からシステム系へ、より上位のレイヤに移行している。おつき合いするパートナーも、ネットワークエンジニアからシステムエンジニアに変わっている。これまでサービスカットで提供していたサービスプログラムを体系化し、ワンストップでお届けするためのリニューアルだ」と、リニューアルに伴うパートナーのメリットを説明する。

### パートナーの強みを組み合わせた クラウドビジネスを推進

NTT Comは、クラウド戦略を「グローバルクラウドビジョン」として掲げ、「グローバル共通品質かつ堅牢性／信頼性に優れたインフラストラクチャー」や「クラウドシームレスなどの特長を持つ高品質／高信頼なネットワーク」をはじめとする九つの強みを打ち出している。パートナーシップはその一つだ。楠木本部長は、「サービスの柔軟性ときめ細かなサポートにおいて既存のパートナーから高い評価を得ている」と胸を張る。加えて、「当社が大手企業に直接営業をしているというイメージを強く抱いているパートナーも多い。しかし、PSPのリニューアルによって、クラウドにおける当社のパートナリングの“本気度”が徐々に伝わっている印象だ。キラーアプリケーションや業界特化型アプリを扱うSlerなど、当社のICTサービスとパートナーのソリューションの強みを組み合わせて、さまざまな業種や規模のエンドユーザー企業のクラウド化を支援していきたい」との考えを示している。

現在、PSPのパートナー数は100社に上るが、プログラムのリニューアルを契機に「早い段階で200社まで拡大を目指す」（楠木本部長）という。同時に、プログラムで扱うパッケージ数もさらに拡大していく。

エンドユーザー企業のクラウド化によって、Slerのなかにはビジネスサイズが小さくなる不安を抱えているパートナーも多い。しかし、深川担当部長は「VPNやMVNOといった、われわれのICTサービスをうまく活用することで、ビジネスサイズを縮小することなくクラウドビジネスに取り組むことも可能だ。NTTコミュニケーションズとの協業をチャンスとして捉え、クラウドビジネスを推進してほしい」と強調する。

PSPのリニューアルから半年の間で、パートナーに向けたさまざまなイベントを、全国で60回開催してきたというNTT Com。パートナーのビジネスチャンスを拡大するため、今後も協業プログラムを積極的に拡充していくことを計画している。

### 「パートナーソリューションプログラム」メニュー

| | メニュー | 対象サービス | 料金 |
|---|---|---|---|
| マーケティングサポート | 共同プロモーション（ウェブプロモーション） | 全サービス | 無料 |
| | 案件リード引渡し | 全サービス | 無料 |
| | 共同セミナー | BHEC*1/Cloud$^{n}$*2/M2M*3/Biz メール /BDP*4/UCaaS*5/Nexcenter*6 | 無料 |
| セールスサポート | 提案ツール／事例提供 | BHEC*1/Cloud$^{n}$*2/M2M*3/Biz メール /BDP*4/UCaaS*5/Nexcenter*6 | 無料 |
| テクニカルサポート | 提案導入支援 | BHEC*1/Cloud$^{n}$*2/M2M*3/Biz メール /BDP*4/UCaaS*5/Nexcenter*6 | 無料 |
| | 検証環境提供 | BHEC*1/Cloud$^{n}$*2/M2M*3/Biz メール /BDP*4/UCaaS*5 | 無料 |
| | 案件サービスマネージャー | BHEC*1 | 都度見積 |
| トレーニングサポート | 勉強会開催（営業向け／ＳＥ向け） | BHEC*1/Cloud$^{n}$*2/M2M*3/Biz メール /BDP*4/UCaaS*5/Nexcenter*6 | 無料 |
| 情報提供 | 技術者向け資料（マニュアル） | BHEC*1/Cloud$^{n}$*2/M2M*3/Biz メール /BDP*4/UCaaS*5/Nexcenter*6 | 無料 |

*1)Bizホスティング Enterprise Cloudの略称　*2)Bizホスティング Cloud$^{n}$の略称
*3)M2Mソリューションとして利用するArcstar Universal Oneモバイル、Arcstar Universal Oneモバイル グローバルM2M、OCN モバイル ONE for Business
*4)BizデスクトップProの略称　*5)Arcstar UCaaSの略称　*6)次世代のデータセンターの呼称

*photo by Hirokazu Hasegawa*

プログラム詳細は、『パートナーソリューションプログラム』で検索し、ご覧ください。